

# 秋葉区

[人口：78,549人、世帯数：26,681戸、面積：95.38km<sup>2</sup>]

※住民基本台帳（H20. 8）

## 1) 現況整理

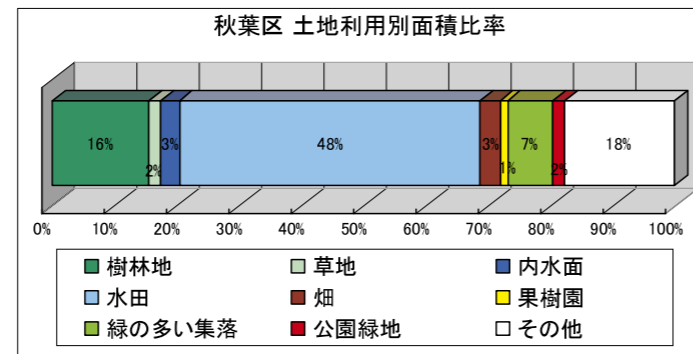
### ① 区の概況

秋葉区は、新潟県のやや北部に位置する新潟市の中で南東に位置し、東西を信濃川、阿賀野川の二大河川に囲まれ、北には小阿賀野川、そして南にはいつ丘陵を有した、四季を通じて美しい表情を見せる緑豊かなまちです（水と緑のまち）。かつて石油・鉄道のまちとして栄え（石油の里・鉄道のまち）、現在は花き花木、球根の生産地として全国に知られています。サツキ、ボケ、アザレア、寒梅、雪割草を中心とする色鮮やかな花たちが「まち」を彩り、毎年関東や東北方面に数多く出荷されています（花のまち）。

近年は、新潟薬科大学を核とし、産・学・官そして地域が連携したバイオリサーチパーク構想の推進により、新・地場産業の形成と産業基盤強化をめざしています。

### ② 土地・緑の現況データ

- みどり率：（全体）76%、（まち）28%  
（参考 緑被率：（全体）72%、（まち）21%）
- 公園緑地総面積：189ha
- 1人あたり公園緑地面積：24.1m<sup>2</sup>/人
- まちの中の身近な公園緑地密度：223m<sup>2</sup>/ha



注「その他」は主に宅地や道路などの都市的土地利用

### ③ 水と緑を構成する要素

〈主な公園緑地〉

- [総合公園] 花と遺跡のふるさと公園、秋葉公園
- [特殊公園] さつき山公園、つばき公園
- [近隣公園] 石油の里公園
- [都市緑地] 雁巻緑地
- [その他] 大沢森林公園、マイロード緑地、新津川河川広場、信濃川親水緑地公園、阿賀野川水辺プラザ、信濃パレー親水レクリエーション広場

〈その他の資源〉

- [いつ丘陵] 人里に近接しているため、人間活動との関わりにおいて維持・育成されてきた植生が多く、「二次林」「植林」が大半を占めています。また、秋葉公園、花と遺跡のふるさと公園、石油の里公園や、美術館や植物園などの文化施設が整備されています。
- [阿賀野川] [信濃川] 河川敷は畑を中心とした農地として利用されています。
- [小阿賀野川] 堤防沿いに緑の多い集落地が形成されています。
- [能代川] [新津川] 河川敷及び堤防はサイクリングロードとして活用されています。

### ④ 区の将来像（新・新潟市総合計画 区ビジョン基本方針より）

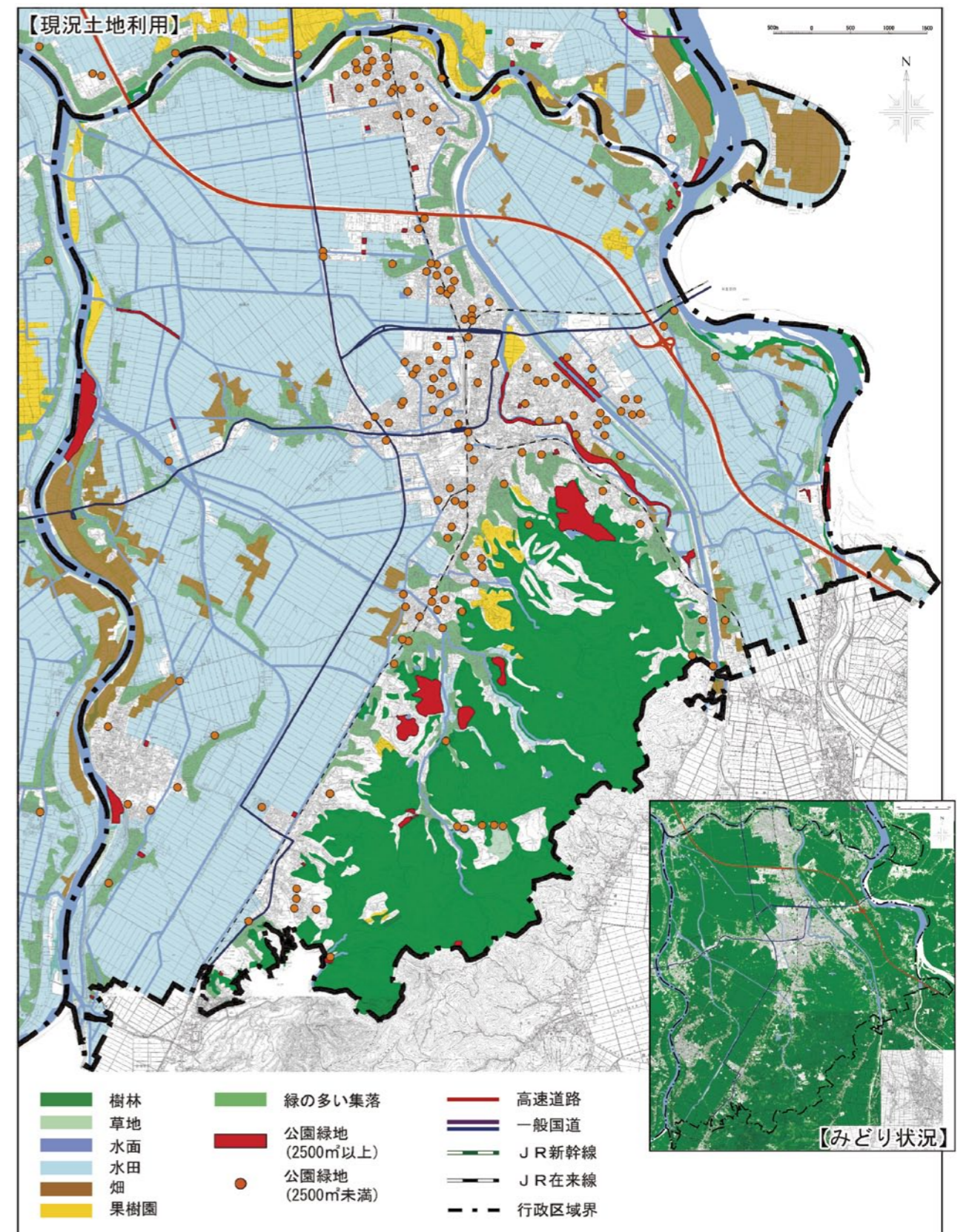
〈区の将来像〉

花と緑に囲まれた、快適でにぎわいのあるまち

〈区の担う役割〉

- 田園や丘陵に囲まれる豊かな自然環境を活かした良好な居住地としての役割を担います。
- 河川や丘陵などの自然特性、県立植物園や古津八幡山遺跡などを活用した憩いと安らぎを提供する役割を担います。
- バイオリサーチパーク構想に基づき、バイオ技術研究の拠点形成を進めることにより、産学官地域が連携する学術・研究拠点としての役割を担います。

## ⑤ 緑の実態



## 2) みどりの将来方針

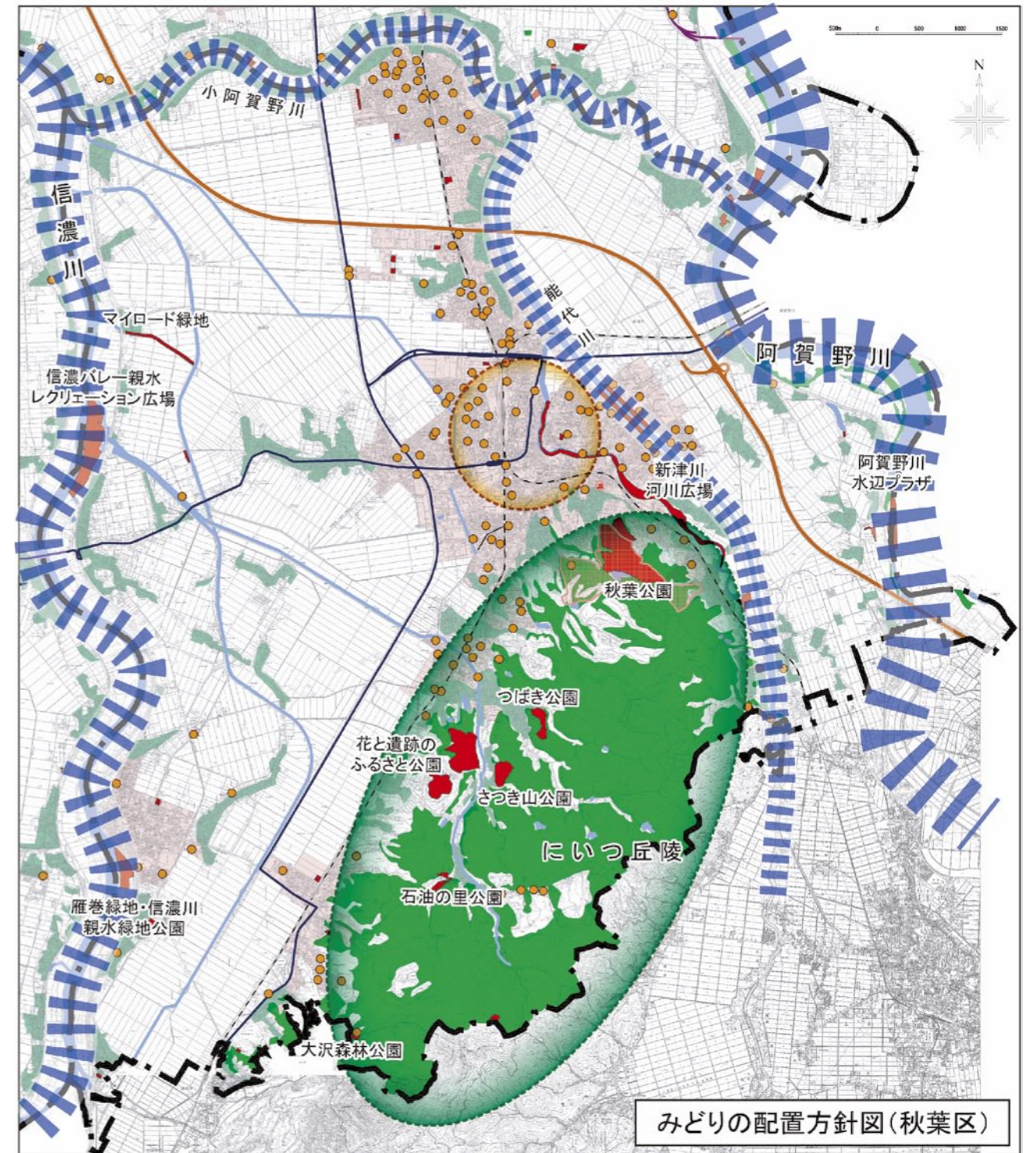
### ① みどりに関する区の方針

- 区域を潤す信濃川、阿賀野川、小阿賀野川と能代川、緑豊かな里山・丘陵地、そして、これらを優しく包む田園など、恵まれた自然環境は、次世代に引き継ぐべき貴重な財産として保全と活用に努め、人と自然が調和した美しい景観のまちを目指します。
- 緑豊かな自然環境の中で、便利で快適に暮らせる居住環境のあるまちを目指します。

### ② 主なみどりの施策及び事業の概要

事業名	事業概要
里山保全活用事業	「にいつ丘陵」の里山について、良好な自然環境を保全するとともに、その利活用を図ります。
秋葉公園整備事業	丘陵総合公園として整備を進め、併せて老朽化した公園施設の更新を図ります。
公園整備事業	公園緑地は、地域住民に潤いとやすらぎを与えると同時に、住民のコミュニティの場として重要な施設であることから、整備を促進します。
フラワーロード整備事業	秋葉区を南北に縦断する国道403号沿線を春から秋まで菜の花・ひまわり・コスモスで、うるおいのある道路空間の創出を図ります。

### ③ みどりの配置方針図



【みどりの現況】		【みどりの配置方針】	
樹林	まち(用途地域等)	水の軸	みどりを演出するエリア(都心)
水面	国定公園区域	緑の軸	みどりを演出するエリア(都心周辺部)
緑の多い集落	風致地区	水の拠点	みどりを演出するエリア(まちなか)
公園緑地 2500㎡以上	保安林	緑の拠点	公園緑地(計画)
2500㎡未満			
※ 計画公園緑地の名称は仮称			

# 南区

[人口：47,869人、世帯数：14,328戸、面積：100.83km<sup>2</sup>]

※住民基本台帳（H20. 8）

## 1) 現況整理

### ① 区の概況

南区は、旧白根市・旧味方村・旧月潟村の3市村の区域で構成され、越後平野のほぼ中央に位置しています。区の東側には日本一の大河信濃川が、区の中央には中ノ口川が流れる緑豊かな田園地域です。

春を待って一斉に咲き競う花々、辺り一面を黄金色に染め上げる稲穂、そして芳醇な香りと甘さをたたく果実と、南区では1年を通して自然の恵みを体感できます。

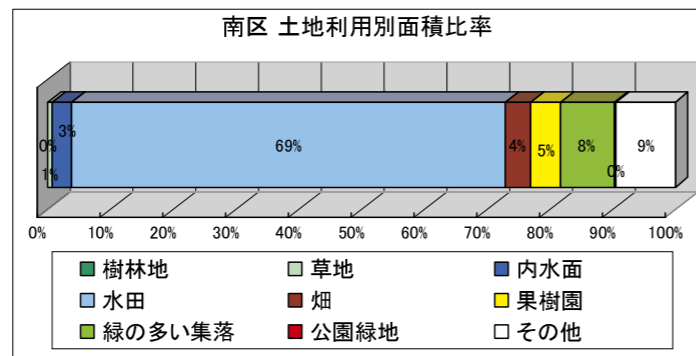
先人の熱き思いを今に伝える「大風合戦」、ふるさとを愛する心が守る郷土芸能「角兵衛獅子」など、南区には古くから伝わる伝統行事が今もしっかりと息づいています。江戸時代の大庄屋「旧笹川家住宅」では、蒲原穀倉地帯の豊かさと当時の農村の様子が今も変わらず感じられます。

産業分野では、農業を基幹産業とし、利便性の高い道路交通網を活かした工業団地への企業誘致を進めるとともに、伝統技術に裏打ちされた仏壇や鎌などの生産品を地域ブランドとして高めるなど、農工調和のとれたまちづくりを目指しています。

南区は、近年国道8号線を中心に都市化が進み、都市機能と田園ののどかさが共存する魅力ある地域となっています。

### ② 土地・緑の現況データ

- みどり率：(全体) 79%、(まち) 30%  
(参考 緑被率：(全体) 75%、(まち) 19%)
- 公園緑地総面積：20ha
- 1人あたり公園緑地面積：4.2m<sup>2</sup>/人
- まちの中の身近な公園緑地密度：125m<sup>2</sup>/ha



注「その他」は主に宅地や道路などの都市的土地利用

### ③ 水と緑を構成する要素

〈主な公園緑地〉

〔総合公園〕白根総合公園

〈その他の資源〉

〔信濃川〕南区の北端中ノ口川との合流点は、自然豊かな水辺空間として市民の憩いの場となっています。

〔中ノ口川〕河川沿いには白根のまちや集落などの居住地が集積しており、区を中心軸を形成しています。また、堤防は白根大風合戦の舞台となります。

### ④ 区の将来像（新・新潟市総合計画 区ビジョン基本方針より）

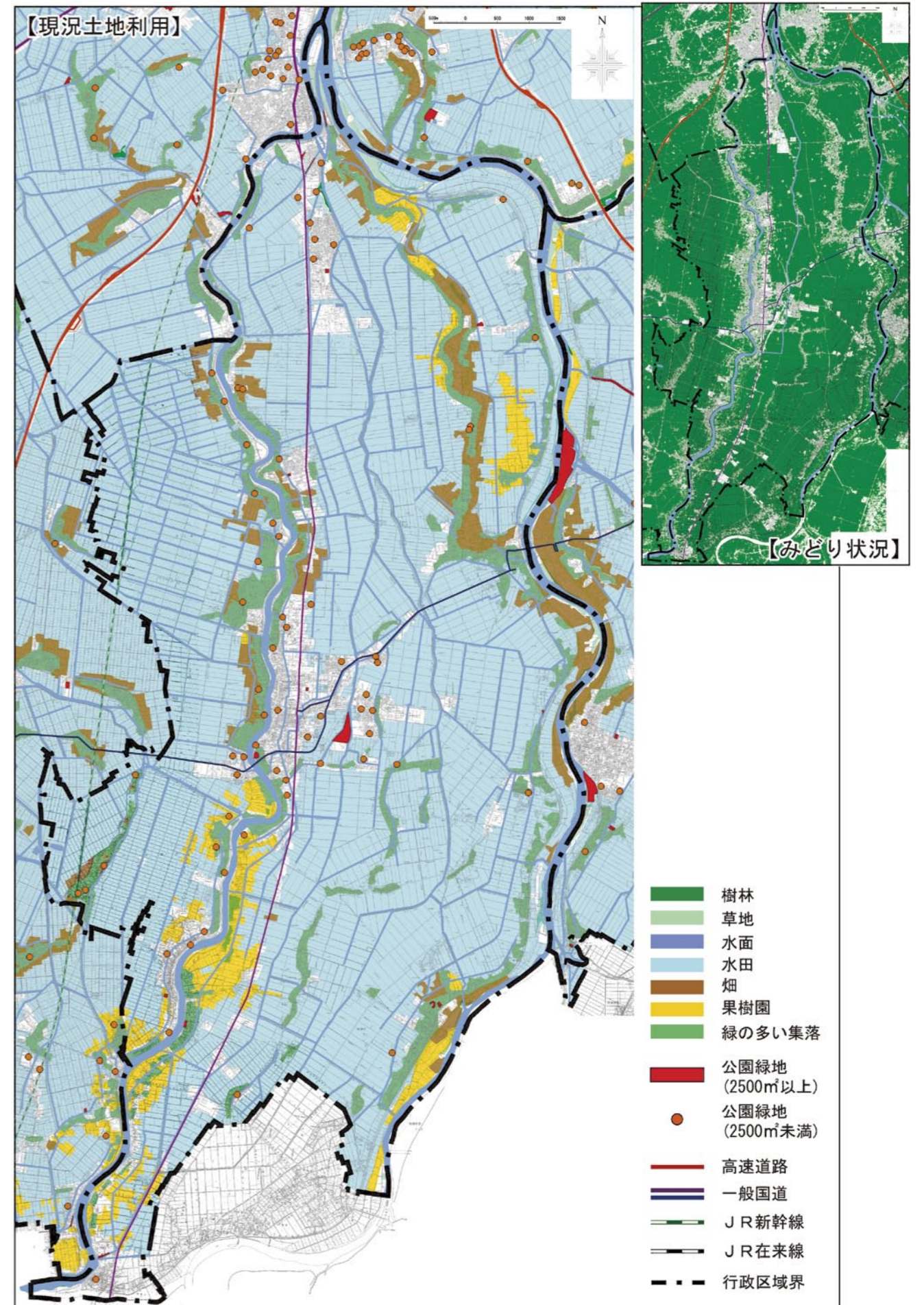
〈区の将来像〉

大地の恵みと伝統文化、技がはぐくむうおいのあるまち

〈区の担う役割〉

- ・豊かな自然環境と調和した良好な居住地としての役割を担うとともに、全国を見据えた総合食料基地である本市の一翼や「農」における国際交流拠点の役割を担います。
- ・地域の伝統や観光資源を活かし、観光都市にいがたの一翼を担います。
- ・高速道路などの交通ネットワークを活かした工業地域としての役割を担います。

## ⑤ 緑の実態



## 2) みどりの将来方針

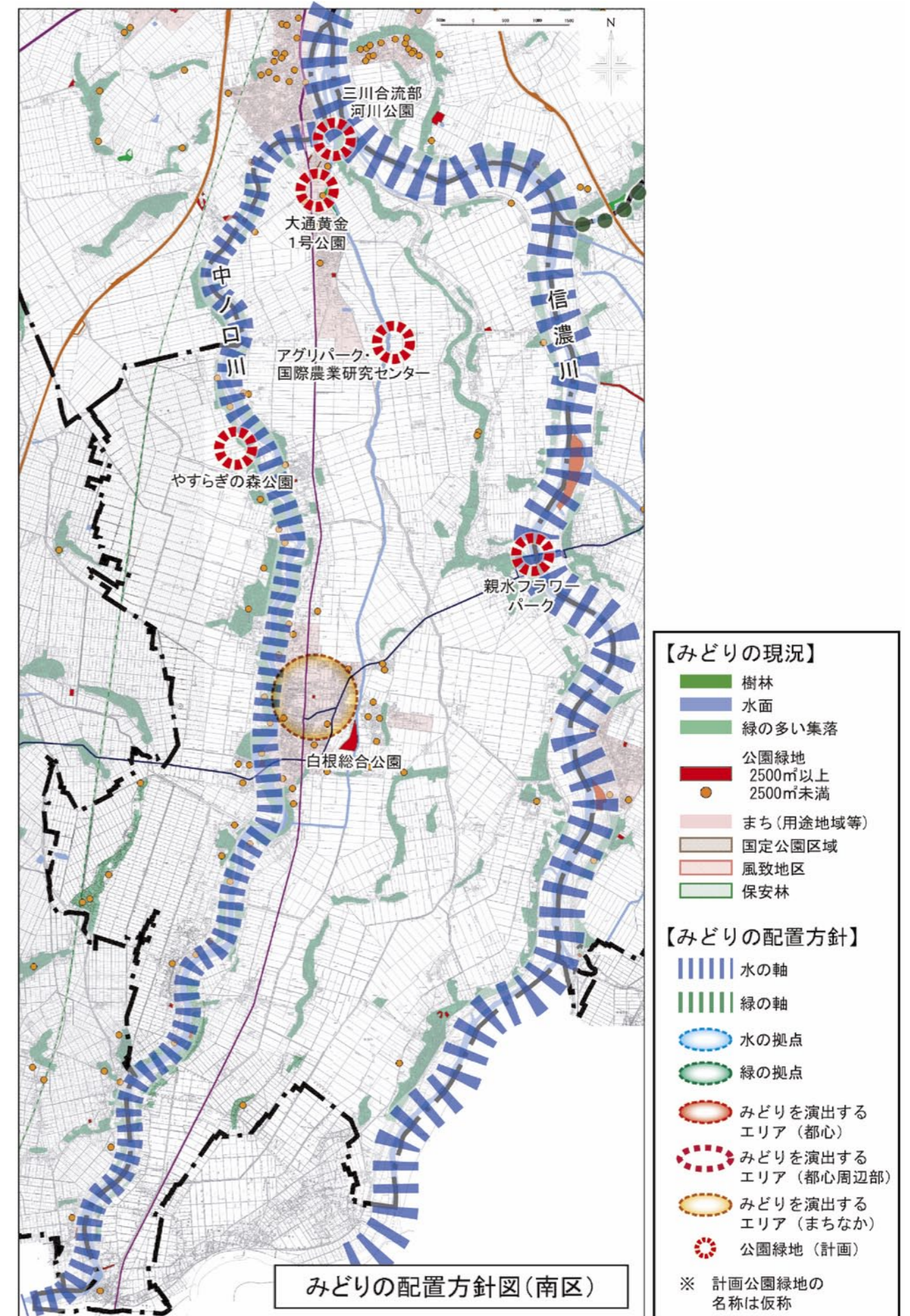
### ① みどりに関する区の方針

- 信濃川と中ノ口川の両河川によって育まれる豊かな自然環境と調和した、安心・安全で人にやさしく、ゆとりある居住環境のあるまちを目指します。
- 新潟市における豊かな自然環境と調和した良好な居住地としての役割を担います。

### ② 主なみどりの施策及び事業の概要

事業名	事業概要
親水フラワーパーク整備事業	白井・大郷地区において、信濃川河川敷を都市緑地として整備し、地区住民などにやすらぎの場、憩いの場、交流の場を提供する。
既存公園等整備事業	安全基準の変更及び老朽化した公園遊具等について、入れ替えや新規設置など、公園利用者が安全・安心に利用できる施設の整備を図る。
三川合流部河川公園整備事業	三川（信濃川、中ノ口川、鷺ノ木大通川）合流部の鷺ノ木大通川沿いに新たな遊歩道を設置し、既存遊歩道と一体的に利用できる公園機能を備えた水辺空間を整備する。
やすらぎの森公園整備事業	味方地区において、多目的で自然環境あふれる公園を整備し、地区住民などに余暇や憩いの場、やすらぎの場を提供する。
大通黄金1号公園整備事業	大通地区において、植栽・園路・遊具及び広場などの公園施設を整備し、地区住民などに憩いの場やコミュニティの場を提供する。
(仮称) アグリパーク・国際農業研究センター整備事業	農業生産技術・農村起業等の生産者への支援と、農業体験の機会や食育・花育プログラムを市民や県外からの来訪者等に提供するための拠点施設として整備を行い、「農を実感できる場」とします。

### ③ みどりの配置方針図



## 1) 現況整理

### ① 区の概況

西区は、新潟市の中で信濃川及び関屋分水路以西に位置し、関屋地区の一部と関屋堀割町・坂井輪地区・黒埼地区・旧巻町の四ツ郷屋地区で構成されています。

区内は鉄道沿線や幹線道路沿いを中心に良好な住宅地が形成され、南側一体には農地と農村集落があります。また、信濃川・中ノ口川・西川・新川といった河川、佐潟・御手洗潟といった潟、日本海などの水辺が多く存在しています。

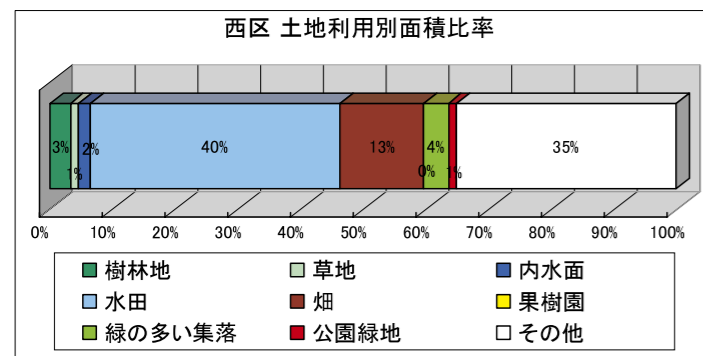
あわせて、高度な学術研究機関としての大学等も複数立地しており、学術・文化・産業が交流するまちづくりが世代を超えた住民の参画によって進められています。

産業では、商業活動が盛んな区で、年間商品販売額が市内全8区の中では2番目となっています。農業分野では畑作が盛んで、くろさき茶豆や新潟すいか、赤塚大根といった県内外に知られているブランド品を生産しています。また、高い技術力に裏付けされた黒埼の砂時計は、独自の存在感で高い評価を得ており、日本国内では有数の生産量で全国的に知られています。

交通では、区の東側を南北に北陸自動車道が通っており、新潟西IC、黒埼スマートICが整備され、磐越自動車道、日本海東北自動車道と繋がっています。また、国道8号、116号、402号が通っているほか、鉄道はJR越後線の駅が7つ設置され、一体化が進んでいます。

### ② 土地・緑の現況データ

- みどり率：(全体) 50%、(まち) 15%  
(参考 緑被率：(全体) 48%、(まち) 7%)
- 公園緑地総面積：124ha
- 1人あたり公園緑地面積：8.0m<sup>2</sup>/人
- まちの中の身近な公園緑地密度：142m<sup>2</sup>/ha



注)「その他」は主に宅地や道路などの都市的土地利用

### ③ 水と緑を構成する要素

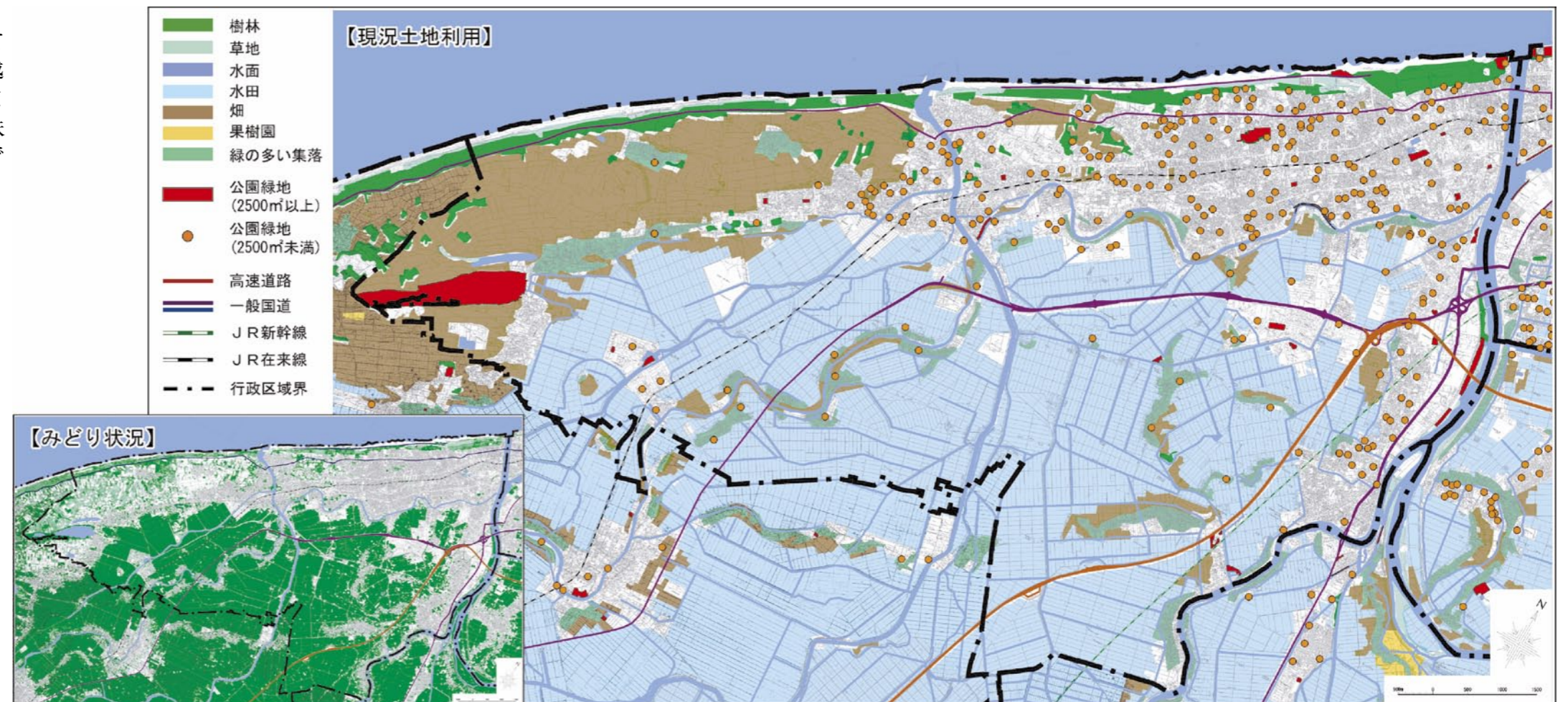
〈主な公園緑地〉

- [総合公園] 佐潟公園
- [地区公園] 寺尾中央公園
- [近隣公園] 青山水道遊園、流通公園、青山海浜公園
- [都市緑地] 善久河川敷公園、なぎさのふれあい広場、西川緑地、山田河川敷公園
- [その他] ふれあい散策道

〈その他の資源〉

- [佐 潟] 北東方向の大きな下潟と西方向の小さな上潟により成り立っています。外部から流入する河川はなく、水源は周辺の砂丘地からの湧水や雨水に頼っています。
- [新 川] 西蒲原の排水を受け持つ人工的に開削された水路。
- [西 川] 新川以西では農村地帯を流れる河川景観、新川以東はまちに隣接した都市的な景観を形成しています。
- [海岸林] 江戸時代に人為的に植えられた飛砂防止用のクロマツなどで形成されています。近年マツクイムシの被害が進行し、また、国道402号バイパスに大量の砂の堆積が見られます。

### ⑤ 緑の実態



### ④ 区の将来像（新・新潟市総合計画 区ビジョン基本方針より）

〈区の将来像〉

都市と農村が共生する、うるおいの居住環境と優れた学術環境に育まれるまち

〈区の担う役割〉

- ・都市部と農村部が一体となっている区の特徴を活かし、都市と農村の相互交流を推進し、田園型政令市のパイロット役を担います。
- ・新潟大学、新潟国際情報大学など、多数の学術研究機関が立地していることから、研究開発機能の中核拠点としての役割を担います。
- ・佐潟・海岸など、豊かな自然環境と幹線道路・鉄道などの交通の利便性の両方を併せもつ地域の特徴を活かし、環境に配慮し、自然を満喫できる憩いの場を提供する機能を担うとともに、快適な居住機能を担います。
- ・利便性の高い交通網を活かし、流通関連機能を担います。

## 2) みどりの将来方針

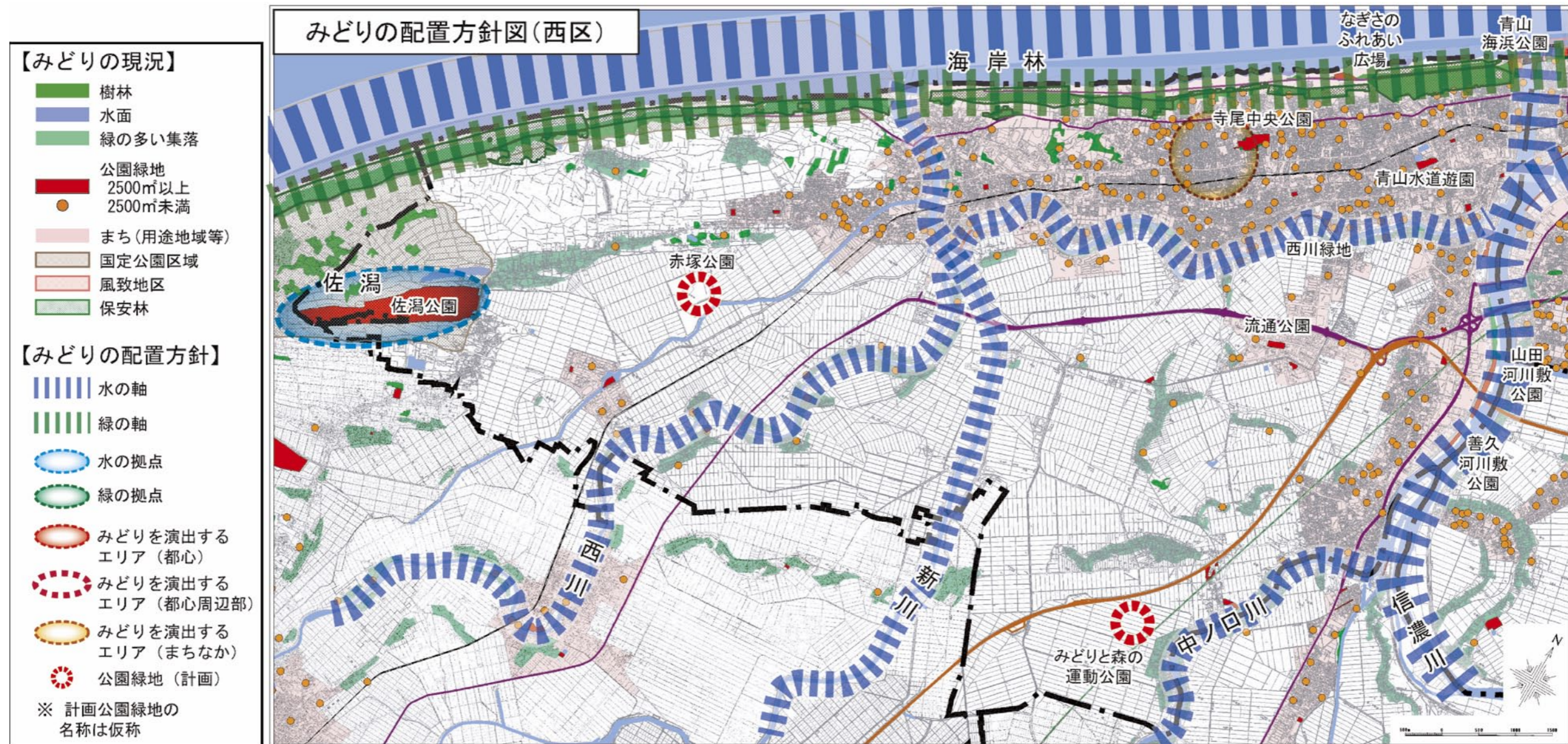
### ① みどりに関する区の方針

- 夕日の美しい海岸部においては、砂丘地や松林の保全に努め、都市に調和する自然豊かなまちを目指します。
- ラムサール条約湿地である佐潟など、美しい水辺の保全と活用を図りながら、人と自然が豊かにふれあえるまちを目指します。
- 市民が運動やレクリエーションを楽しめる空間として、黒埼地区の運動公園整備や赤塚埋立処分地跡地を利用した総合的な公園整備を行うなど、市民に憩いの場を提供します。

### ② 主なみどりの施策及び事業の概要

事業名	事業概要
住区公園等整備事業	区民の余暇や健康増進、交流の場など生活に密着した身近な公園の整備を推進します。
みどりと森の運動公園整備事業	スポーツやレクリエーションなどを楽しむことができる運動公園を整備します。
総合公園整備事業	赤塚埋立処分地跡地を利用して、総合的な公園を整備します。
保安林等保護管理事業	貴重な緑地空間であり、飛砂防止、防風などの機能を有する保安林などを良好な状態に維持していく為、その保護・管理に努めます。
湿地等自然環境保全事業	佐潟周辺自然環境保全計画の推進を行い、保全と賢明な利用を進めます。

### ③ みどりの配置方針図



## 1) 現況整理

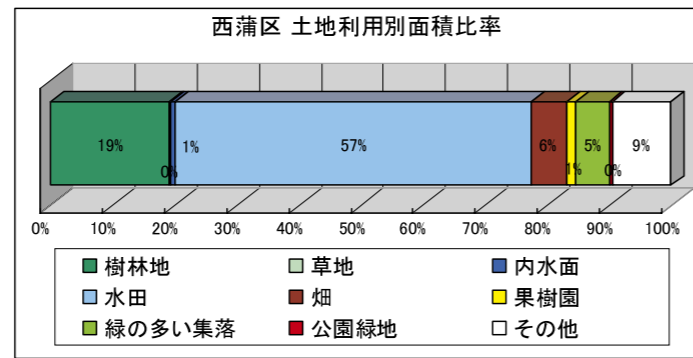
### ① 区の概況

西蒲区は、新潟市の南西に位置し、海・山・平野に抱かれた自然豊かな環境にあり、西には日本海を望む美しい海岸線と秀峰角田山・多宝山を有しています。そのほとんどは「佐渡弥彦米山国定公園」に指定されています。山地を除く大部分は、広大な越後平野に美田が展開し、信濃川の分流である西川と中ノ口川が流れています。

基幹産業である農業では、おいしい米作りをはじめ、砂丘畑地でのスイカ、メロン、大根など、角田山麓での柿、平地での大豆、いちじくの栽培などにより広大な農地の利用を進めています。

### ② 土地・緑の現況データ

- みどり率：(全体) 80%、(まち) 22%  
(参考 緑被率：(全体) 79%、(まち) 20%)
- 公園緑地総面積：78ha
- 1人あたり公園緑地面積：12.4m<sup>2</sup>/人
- まちの中の身近な公園緑地密度：141m<sup>2</sup>/haa



注)「その他」は主に宅地や道路などの都市的土地利用

### ③ 水と緑を構成する要素

〈主な公園緑地〉

- [総合公園] 上堰湯公園
- [運動公園] 城山運動公園
- [近隣公園] 西川ふれあい公園
- [都市緑地] 矢川ふれあい公園
- [その他] 矢垂川公園、矢川緑地公園、ほとるの里公園

〈その他の資源〉

- [角田山] 佐渡弥彦米山国定公園に属し、県内に自生する草木のほとんどが見られる自然豊かな山で、特に雪割草やカタクリの宝庫として知られています。子どもから高齢者までが楽しめる7つの登山道が設けられています。
- [多宝山] 角田山と同じく、佐渡弥彦米山国定公園に属し、清らかな湧き水を育んでくれるほか、雪割草やカタクリ、イチリンソウ、ヤマユリなど季節の山野草が自生しています。
- [新川] 西蒲原の排水を受け持つ人工的に開削された水路。
- [西川] 巻地域や西川地域などのまちを貫流しており、身近な河川で西川ふれあい公園などの親水空間が整備されています。
- [中ノ口川] 信濃川の支流であり、その昔上杉家の家臣、直江兼統によって開削されたともいわれます。ここで暮らす人々の生活・農業用水として利用されています。
- [海岸林] 江戸時代に人為的に植えられた飛砂防止用のクロマツなどで形成されています。
- [仁箇堤] 約350年前、先祖が農地の用水確保のために5年がかりで堤防を築き「ため池」としたもので面積は約6ha。水芭蕉の自生地であり、豊かな自然環境が残されています。
- [門田のハザ並木] 中之口地内の県道沿いに約700m続く並木道で、伐採される予定の「ハザ木」を、農村の貴重な遺産として保存したもの。読売新聞社主催の「新・日本街路樹百選」に選ばれています。
- [夏井のはぎ木] 岩室の夏井地区に約600本が保存されており、米どころ越後平野の原風景として農林水産省が選定した「農業景観百選」のひとつです。
- [越後七浦シーサイドライン] 角田浜から、寺泊野積までの全長13.9kmにおよぶ海岸道路。美しい砂浜や奇岩、断崖といった風光明媚な景色が見られます。
- [弥彦山スカイライン] 間瀬峠から多宝山を登り山頂付近を経て、弥彦猿ヶ馬場に至る総延長13.7kmの道路。西は日本海に浮かぶ漁火から出雲崎の街並、東は越後平野が一望できます。

### ④ 区の将来像（新・新潟市総合計画 区ビジョン基本方針より）

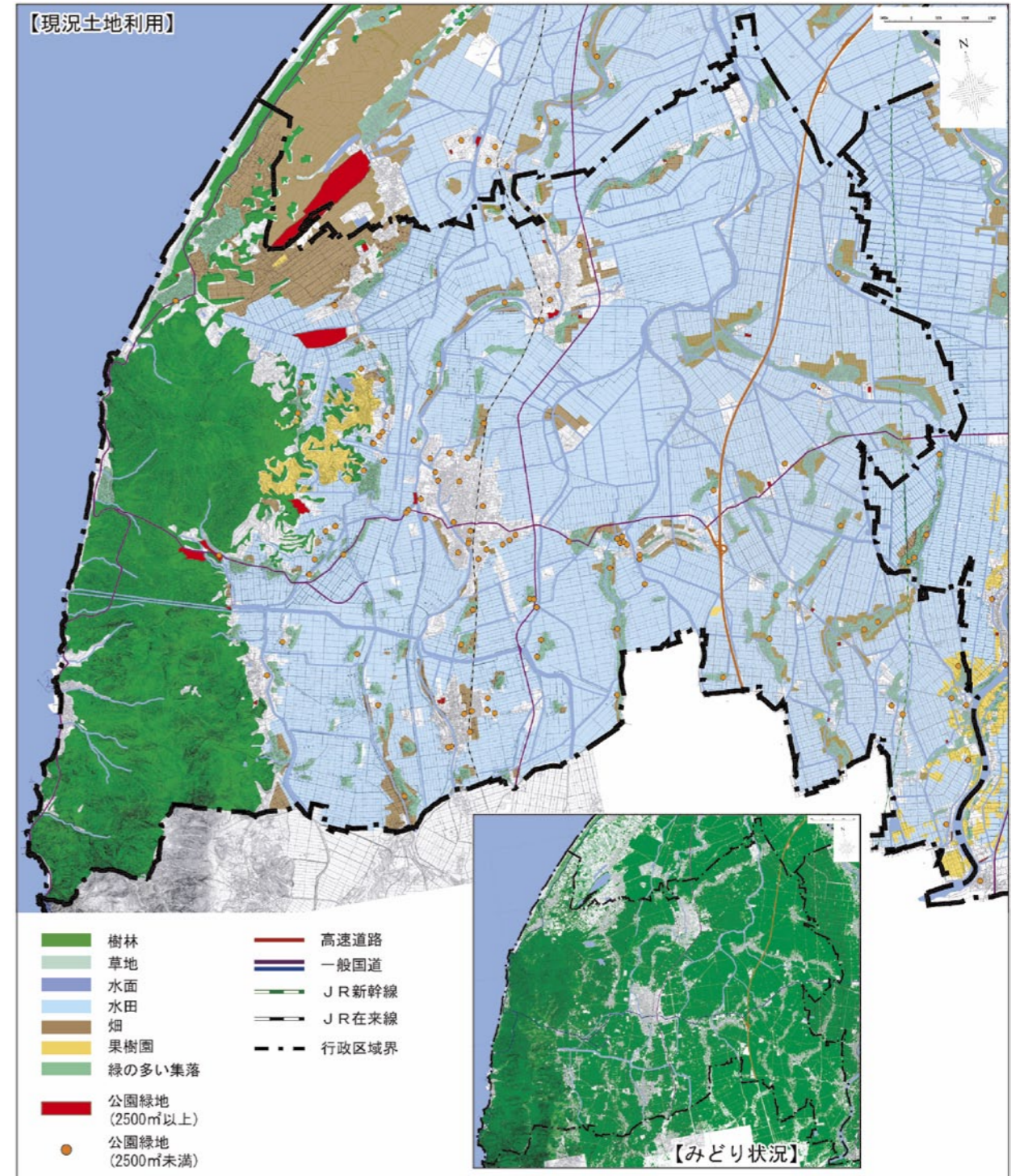
〈区の将来像〉

豊かな自然環境や観光資源に恵まれた、人と人が温かくふれあうまち

〈区の担う役割〉

- ・最も広大な農地を有する区として、安心・安全でおいしい食材を生産する総合食料基地である本市の一翼を担います。
- ・豊かな自然環境や観光資源を活かし、観光・レクリエーション機能のほか、都市と農村の交流拠点としての機能を担います。

### ⑤ 緑の実態



## 2) みどりの将来方針

### ① みどりに関する区の方針

- 山や海、田園の緑豊かな自然を活用して、訪れる人から“ゆったり感”“のんびり感”を満喫してもらえるような癒しの空間形成に取り組めます。
- 公園は地域の憩いの場、ふれあいの場であり、災害時にも利用できる施設であることから、計画的な公園整備を行います。
- 都市化、混住化に伴い、失われつつある美しい田園風景を残しつつ、「田園型政令市」にふさわしい、寄り道したくなるような農村景観の形成を目指します。
- 里山の有する機能を将来に渡し、継続して高度に発揮させるため、計画的な植栽・間伐や保安林の保護管理など、適切な里山の保護・育成により、健全で活力ある里山の整備を促進します。

### ② 主なみどりの施策及び事業の概要

事業名	事業概要
大通川公園整備事業	地域住民のための潤いある豊かな生活環境を確保するため、漆山地内（巻）の大通川沿いに公園を整備します。
升湯団地公園整備事業	周辺住民のやすらぎとふれあいの場として、升湯地内（西川）に公園を整備します。
岩室ゆのさと公園整備事業	岩室温泉地区の観光施設として、宿泊客、観光客、地域の憩いの場となる公園を整備します。
(仮称) 農業体験型大規模公園整備事業	農業の持つ多面的な機能を活用し、体験農園、市民農園など複合的に整備を行い、都市と農村の交流を図るとともに、地域の活性化を促進します。
市民農園の拡充	市民農園・収穫体験農園（市民ランド）の拡充を図ります。
ハザ並木（はざ木）保存事業	ハザ並木が残る田園風景を保全するため、ハザ木の維持管理及び保全活動を支援します。（岩室・中之口）
角田・多宝山観光振興事業	豊かな自然環境に恵まれた角田山、多宝山の観光資源としての魅力をさらに高めるため、各種事業に取り組み、区の観光振興を図ります。
里山育成事業	里山所有者による計画的施業や活動を支援します。また、里山保全活動に携わるボランティア団体の育成や活動支援を図り、林業の振興に寄与します。
保安林保護管理事業 海岸林保全事業	新潟県の「松くい虫被害対策事業推進計画」に基づき、保安林などで防除作業などを行います。
公園緑地整備・改修事業	各種公園や緑地の整備を行い、住環境の整備を図ります。

### ③ みどりの配置方針図

